

前期課程

金ピカの思い出

六年A組 鈴木 芙優

私が京都で一番心に残っているのは金閣です。想像以上に金ピカで、よく見ると金箔が一枚一枚しっかりと貼ってあり、感動しました。ふと見ると、金閣の上の鳳凰にカラスがとまっていて面白かったです。他にも、シルバークライドさんがいろいろな所を案内してくださったり、おみくじで大吉が出たり、三十三間堂の迫力に驚いたりして、楽しかったです。疲れた後は、旅館で癒されました。特に、朝食の鮭は脂がのっけていて最高でした。漆器加飾体験は簡単だと思っていました、工程が多くとても苦労しました。

奈良では、東大寺の大仏に驚きました。高さはもちろん横幅も広く、手の平のしわも見えるほどでドキドキしました。昔の東大寺はもっと大きかったそうです。

まだやりたい体験や食べたいものがあるので、また京都・奈良に行きたいです。



初めてのことで

六年A組 久野 夢月

ぼくが修学旅行で一番心に残ったことは京都の班分散です。なぜなら、地元のことをよく知っていらつしやるシルバークライドさんに出迎えてもらい、さまざまな知識を教わったからです。八坂神社では、いくつかの摂社・末社があり、体を清めるとたちまち美しくなるといわれる池のある美御前社、大坂今宮戒のえびすさんの故郷といわれている北向蛭子社などがあり、長い年月をかけて、紡がれてきた歴史の壮大さに心奪われました。また、京都の街並みや神社の歴史、建物、路地裏の道、はりめぐらされた大通りからも趣深さを感じ、心をひかれました。出会った人たちのあたたかみや、まだ見ぬ新たな京都、京都を見つけることができ、とてもうれしかったです。



修学旅行の思い出

六年B組 荒川 依央莉

京都で一番記憶に残っているのは、八坂庚申堂です。そこには「くくりざる」というものがあり、

願い事を書くときよいことが起こるので、私は願い事を書きました。また、ガイドさんが京都についていろいろなことを教えてくださり、私も多くの質問をすることができました。

奈良では、鹿と遊んだり東大寺の大仏を見たりしたことが特に記憶に残っています。実際に鹿を触ったことがないのでわくわくした気持ちになりました。東大寺の大仏は想像以上に大きく、優しい顔と、不思議な手の形が印象的でした。遙か昔にあの大きな大仏が造られたと思うと、日本のモノづくりの技術を誇らしく思いました。

修学旅行を終えて、貴重な機会だったからこそ、もう少しメモをすればよかったと思いました。また、街を歩くと多くのお店や有名な建物が所々にあり、それらが見られてよい思い出になりました。また京都や奈良に行きたいです。



修学旅行の思い出

六年B組 立松 眞基

僕たち六年生は京都と奈良に歴史を学びに行きました。

修学旅行の中で一番記憶に残っていることは、自分たちで決めた場所に行く京都分散です。班に一人のガイドさんがつき、建物などの説明をしてくれました。辰巳大明神では、

「商売はん盛の氏神様として信仰されている神社です」と多くの事を教えていただき、長い年月をかけて守られている場所だと知りました。

二日目は東大寺に行きました。大きな大仏は十八メートルもあり、あまりの大きさにみんなが驚いていました。僕は大きな大仏に怖いイメージをもっていましたが、微笑んでいる大仏の顔を見て心が落ち着きました。

この二日間でガイドさんや現地の方にはたくさんお世話になり、分散行動では仲間としおりで確認しながら目的地を目指すなど、家族から離れてさまざまな経験ができました。時間を積み重ねていった歴史について、これからも勉強を続け、それを今度は自分たちが次の世代へと繋げていきたいです。





後期課程

職場体験に行こう

七年A組 佐藤 蓮

ぼくは、職場体験で飲食店に行つて、たくさんのお客さんや店員さんとお話をして、色々なことを学びました。その中で一番大切だと思ったことは、あいさつです。あいさつは、日常生活でも大切です。また、お店では、店員さんが気持ちのよいあいさつをすること、お客様によいお店だと思つていただけることを学びました。ぼくは、自分から進んであいさつすることはできたけれど、大きな声では、あいさつをすることができませんでした。職場体験が終わったからこそ、これまでに以上に、大きな声であいさつができるよう意識していきたいです。

二番目に大切だと思つたことは、掃除です。店内をきれいにすることで、来店されたお客様も気持ちよく過ごさずにはいけません。今回の職場体験で教えていただいた大切なことを将来に生かしたいと思います。



職場体験で学んだこと

七年A組 長谷川 陽太

ぼくは、飲食店で職場体験をして、接客の仕方や包丁の使い方、

そして、自分で考えて動くことの大切さを学びました。接客をする際には、しっかりと声を出す、物を置くときには音をたてないように置く、お客様にどのように声をかけて食事を提供するかなど、細かなことまで多くのことを教えていただきました。また、包丁を使う時は、手に力を入れず、刃に力を入れるというアドバイスを覚えていただき、何回も試していくうちに、こつをつかんでスムーズに使うことができるようになりました。体験最終日になると、ほとんど自分でやることを見つけて行動できるようにになりました。三日間を通して、次は何をやればよいのかを考えて行動することの大切さを学びました。職場体験でこれから役に立つことをたくさん身につけることができましたので、よかったです。



職場体験で学んだこと

七年B組 久野 結心

ぼくが職場体験を通して学んだことは、保育園や学校の先生という仕事の難しさです。ぼくは、保育園は楽しそうだと思つて体験先を選びました。しかし、体験では楽しいこともありましたが、難しいことや困ることもありました。子どもはとても元気で明るいけれど、話を聞いてくれなかった

り、コミュニケーションがとりにくかったりしたことがあり、少しですが、保育士という仕事の大変さが分かりました。それとともに、子どもたちの仲のよさも分かりました。一緒に遊びたいときは「一緒に遊ぼう」と伝えていて、子どもたちはとても素直なんだと思いました。それを見てみるととてもよい気持ちになりました。そして、よい仕事だなと改めて思いました。ぼくは職場体験で、社会の厳しさや先生という職業の難しさを知りました。まだまだ知らないことばかりですが、社会に進むためにもっとがんばりたいです。



保育士さんの大変さ

七年B組 成田 莉々

私は、小さい子どもはかわいいし、将来の仕事として選ぶかもしれないからという理由で、職場体験先として、保育所を希望しました。準備をするうちに、保育士さんはどのような仕事をしているのか、小さい子は保育所でのように過ごしているのかが気になって、体験に行くことがとても楽しみになりました。

実際に行ってみたら、しっかりと一日のスケジュールが組まれています。後で保育士さんに聞いてみたら、週案と毎日の予定を考

えていることが分かりました。子どもたちは、先生の声かけに合わせながら、きちんとスケジュール通りに動いていてすごいなと思いました。けれども、たまに話を聞いていなかったり、声かけに合わせて行動できなかったりして、そこが保育士さんも苦労しているように感じました。そのようなときにはどうしていいのかを聞いてみたら、遊びなどで気持ちを引きつけるとおっしゃっていました。工夫をしないですらいなと思いました。保育士の仕事は、遊ぶだけではなく、子どもが安心・安全に過ごせるように、私たちの知らないところでたくさん工夫をしているんですね。すてきな仕事だということになりました。保育士に興味をもつたので、今度、保育士について調べてみようと思います。



飛鳥学園

1月の行事予定

- 10日(火) 3学期始業式
- 11日(水) 給食開始
- 12日(木) ~16日(月) 三者懇談(9年生)
- 16日(月) 英語教室(8年生)
- 19日(木) 英検Jr(5・6年生) クラブ活動
- 26日(木) 減農薬給食